

季節のおたより

2020年9月 秋号 年5回発行・No.14

「てくてく人形」



てくてく人形・色見本

フェルト ♥ 色見本

ピンク	赤	まんじ	ライラック
ブルー	ロイヤルブルー	緑	きぬどり
黄	キャメル	マロン	ベージュ
白	アプリコット		

チューブジャージ ♥ 色見本

グレー	白	オールドローズ	赤	こげ茶
ブルー	青紫	ライム	モスグリーン	アプリコット

手作り服キットは、やわらかなジャージ布と作り方がセットになっていますので、すぐに作り始めることができます。

チクチクと手縫いで縫いやすく、切り替え部分のカーブが、とても簡単にきれいにできますよ。

B体(身長30cm)の人形のために、新しいお洋服を作ってあげましょう。

手作り服キットのC体用もただいま準備中!

「手作り服キット B体」
～やわらかジャージで作る
ふわっと切り替えワンピース～
価格：1,800円(税別)



てくてく人形は、ズボンに指を入れて歩かせながら、遊ぶことのできる人形です。

人形と会話したり、お話に合わせて動かすことで遊びの幅も広がります。洋服やズボンの色を変えたら、いろいろな役の人形ができるので、楽しい物語も生まれそうですね。

服と靴はフェルト。帽子とズボンはチューブジャージの色見本からお選びください。(詳細はホームページでもご覧いただけます。)

「てくてく人形」
16cm
※作り方テキスト付
価格：1,430円(税別)



まだ暑い日が続きますが暦の上ではもう秋ですね。実り豊かな秋、果物のおいしい秋、皆さんにはどんな秋でしょう。秋の夜長には、手仕事をしながら心豊かな時間を過ごすのはいかがですか? 大切な方のために、もちろん自分のために丁寧に作られた作品は、あたたかいぬくもりを感じさせてくれます。ぜひ一緒に手仕事を楽しみましょう。

～「だいすきなウォルドルフ人形」写真館より No2～

10月26日は「ウォルドルフ人形の日」です。この日を記念して、人形のいる風景や、大好きなウォルドルフ人形と遊んでいる様子など、みなさんの心に残る写真を募集いたします。皆様からの応募をお待ちしています。応募者の中から抽選で5名様に、記念品を差し上げます。(詳細はホームページやブログをご覧ください。)

募集期間 2020年9月1日～10月20日
応募方法 メールにて写真とコメントをお送りください
※写真はおひとり3枚以内、コメントは50文字以内です。
(応募アドレス photo@s-hitsuji.co.jp)

少し早いですが、クリスマスに向けて「天使」を作ってみませんか? フィンウールを使ったフェルティングは、石鹸水をかけてこすることで、羊毛がまとまっていく不思議が体験できます。ぜひ楽しみながら作ってみましょう。



「手作りフェルトの天使」(18cm) 価格：1,800

「手作り服キット B体」
～やわらかジャージで作る
ふわっと切り替えワンピース～



★昨年の応募写真のご紹介★

- 1、曾祖母が編んでくれた編み人形のAmiちゃんと一緒に。(立花由加さん)
- 2、誕生した日に我が家へ車で帰るふうちゃんです。(しみずみゆきさん)



- 3、どことなく長男似の太陽くんは冒険仲間です。(北山まなみさん)
- 4、かぼちゃんとさくらちゃんに料理をふるまいながら遊んでいます。(内山紗江加さん)
- 5、7歳になっても毎晩抱いて寝ているほど仲良しです。(中村桃子さん)

一般社団法人 スウェーデンひつじの詩舎 スペース ペレのあたらしいふく
〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘15-2
Tel:045-881-6900 Fax:045-881-6665
*<http://www.s-hitsuji.co.jp/> *ブログ・FBもご覧ください。



秋になると、木の実を探しながら公園や森の中を歩くのが楽しくなります。一つひとつの形や色が違う木の実。自然の贈り物の不思議に出会ってみましょう。

《材料》

- 木の実（松ぼっくり、クヌギの実、クヌギの帽子など）
- 羊毛、リボン、フェルト、
- 木工用ボンド



《作り方》

- 白い羊毛を細長く伸ばしたらくるくると巻いていき、俵型になるように頭を作る。（丸いと体に付きにくい）
- その頭に似合うように帽子を作る。羊毛を石鹸水でこすって固めたものや、フェルティングニードルを使ってまとめたもの、市販のフェルトを縫い合わせて帽子にしたり、いろいろな帽子を作りましょう。もしもクヌギがひろえたら、それを顔と帽子にしても素敵です。
- 松ぼっくりの下側にボンドで顔と帽子を付けます。
- 衿元にはリボンを付けてあげましょう。ひげを付けて森の小人にしてもいいですね。
- 松ぼっくりの先をテーブルに押さえ付けるようにしてつぶすと、立たせることができます。



帽子に糸を付けてぶら下げられるようにしてもいいですね。



白羊毛、カラー羊毛「花フェルト」、リボン、フェルティングニードルは、ひつじの詩舎で購入できます。

皆さんは、歌いますか？ いつ歌いますか？ どこで歌いますか？ 何をしながら歌いますか？ 乳幼児期の子どもの保護者や幼児教育者は、子どもとの生活の中で、童謡、子守唄などを歌うと答える方が多いと思います。では、子どもとの関わりの中ではなく、歌うことはありますか？

このような質問をすると、幾つかの同じような答えが返ってきます。気分がいいとき、嬉しいとき、リラックスしているときに、お風呂に入っているとき、車を運転しているとき、台所で料理をしているとき、などなど。これを読んでくださっている方からは「人形を作りながら！」という答えも出てくると思います。

カラオケのように「さあ、歌うぞ！」と意識して歌うのではなく、私たちは鼻歌のように自然に歌っていることがあります。そのときのことを思い出してみると、リラックスしていて、気分がいいときであることに気づきます。

車を運転しながら歌う人は、車の運転が上手で、安全には気を使っているけどもリラックスして運転できる人だと思います。その人も免許取立ての頃には、運転中に歌うことはできなかったでしょう。料理をしたり、掃除をしたり、洗濯物を干しながら歌っている人は、その家事の仕事をリラックスして、楽しんでやっているのではないかと思います。イヤイヤ家事の仕事をしているときや、何かにイライラしているときに、歌うことはできません。

私たちが歌っているときは、体も心も精神的にも健康なよい状態のときなのだと思います。体がだるかったり痛みがあるときに歌うことはできませんし、イライラしていたり怒っているときに歌うことはできません。そして歌っているお母さんの前で、子どもが何かをしてかしたとき、お母さんの歌はパタリと止まります。怒ることと歌うことは両立しないのです。

お母さんお父さん、幼児教育者が子どもの前で、自然に歌っている、あるいは実際には歌ってなくても歌えるような状態にあることは、子どもにとって素晴らしいことです。歌える状態であるかどうかは、私たちが体も心も精神的にもよい状態であることを知るための一つのバロメータです。私たちの歌えるようなよい状態が子どもに伝わっていき、子どもも機嫌よく過ごすことができます。

そして子どもが、スピーカーから再生される歌や音楽でなく、人の歌声や、楽器の演奏を直接体験できることはとても大切なことで、楽しんで歌う人が、子どもの傍にすることに大きな意味があるのです。歌が苦手とと思っている人も、音程が外れていても、気にせず子供の前で子どもと一緒に歌ってみてください。でも本当は、幼児教育者はちゃんと音程が取れるといいのですが・・・。

2020年9月 吉良 創

プロフィール・吉良 創（きははじめ）

1962年生まれ、自由学園卒。ヴァルドルフ幼稚園教員養成ゼミナール（ドイツ、ヴィッテン）修了。滝山しおん保育園園長、南沢シュタイナー子ども園理事、日本シュタイナー幼児教育協会理事、ライアー響会代表。国内外でシュタイナー教育、ライアーに関する講座、講演、コンサート、執筆などを行っている。